

調査の概要

1. 調査の目的

本調査では、三原市内の公立小中学校の適正配置を検討するにあたり、適正配置にかかわる市民の意識や意見を明らかにすることを目的とした。

2. 調査内容

調査内容は、以下のとおりであった。詳細については、本報告書末に調査用紙を補助資料として添付している。

(1) 回答者の属性について

問1 性別について

問2 年齢について

問3 居住区域について

問4 小学校区について

問5 家族(子どもの有無)について

(2) 望ましい学校規模・学級規模について

問6 小学校の学級数について

問7 小学校の学級人数について

問8 中学校の学級数について

問9 中学校の学級人数について

(3) 児童生徒にとって望ましい通学時間・通学方法について

問10 小学生の通学時間について

問11 小学生の通学方法について

問12 中学生の通学時間について

問13 中学生の通学方法について

(4) 学校の適正配置について

問14 学校の適正配置について

(5) 理想とするこれからの三原市の子ども将来像や学校について

問15 三原市の子ども将来像について

問16 学校の特色ある教育について

問17 学校の施設・設備の充実について

3. 調査方法

(1) 作成 三原市立学校適正配置検討懇話会

(2) 対象 三原市に住民票のある成人(平成19年8月27日現在で満20歳以上)

(3) 抽出 層化抽出法(町別・男女別・年齢階層別比例割当法)
(年齢階層は10歳単位。ただし、70歳以上は1階層とする)

(4) 人数 3,000人

(5) 期間 平成19年9月1日～9月14日

(6) 方法 郵送によるアンケート発送・回収
(回収先 三原市教育委員会教育振興課)

4. 回収結果

(1) 発送数 3,000

(2) 未着数 9

(3) 有効数 2,991 (発送数 - 未着数)

(4) 回収数 1,470 (自由記述欄への記入 606件)

(5) 回収率 49.15% (回収数 / 有効数)

5. 分析上の分類

結果の分析にあたり，一部の項目については，回答者を居住地の小学校の規模別で分類し，データを集約した。

分類は，3グループとし，回答者の居住地が，大規模小学校区，中規模小学校区，小規模小学校区のいずれに属するかにより分けた。

大規模小学校区（56.4%）

田野浦小学校，西小学校，南小学校，三原小学校，沼田東小学校，中之町小学校，本郷小学校の7校を対象とする小学校区

全校児童数が300人以上で，「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」第3条の規定にある「1学級40人」という基準に照らし，各学年に40人以上の児童がおり，いずれも2クラス以上がある学校を対象とした。

中規模小学校区（25.4%）

糸崎小学校，幸崎小学校，須波小学校，小泉小学校，沼田西小学校，南方小学校，神田小学校，久井小学校，小坂小学校の9校を対象とする小学校区

全校児童数が300人未満で，全学年に1学級10人以上の児童がいる，複式学級を含まない学校を対象とした。

小規模小学学校区（17.2%）

船木小学校，深小学校，羽和泉小学校，久井南小学校，北方小学校，和木小学校，榎梨小学校，木原小学校，大草小学校，沼田小学校，神田東小学校，高坂小学校，鷺浦小学校，八幡小学校の14校を対象とする小学校区

児童数10人未満の学年がある学校を対象とした。複式学級も含む。

（ ）内の数値は回答者の割合。無回答などを除いているので，合計は100%にならない。